

平成29年度「全国学力・学習状況調査」 — 鳴門市の結果の概要と対応策 —

鳴門市教育委員会

1 はじめに

鳴門市教育委員会より、保護者の皆様をはじめとする市民の方々に、家庭や地域での子どもたちの学習支援や生活習慣の改善などを、学校との協力のもとに図っていただくため、本市の小中学生全般にかかる文部科学省実施の全国学力・学習状況調査の結果の概要をご報告いたします。

なお、本調査は特定教科・内容及び特定の学年の学力・学習状況調査であり、調査結果は本市の児童生徒の学力全体を評価したものではありません。

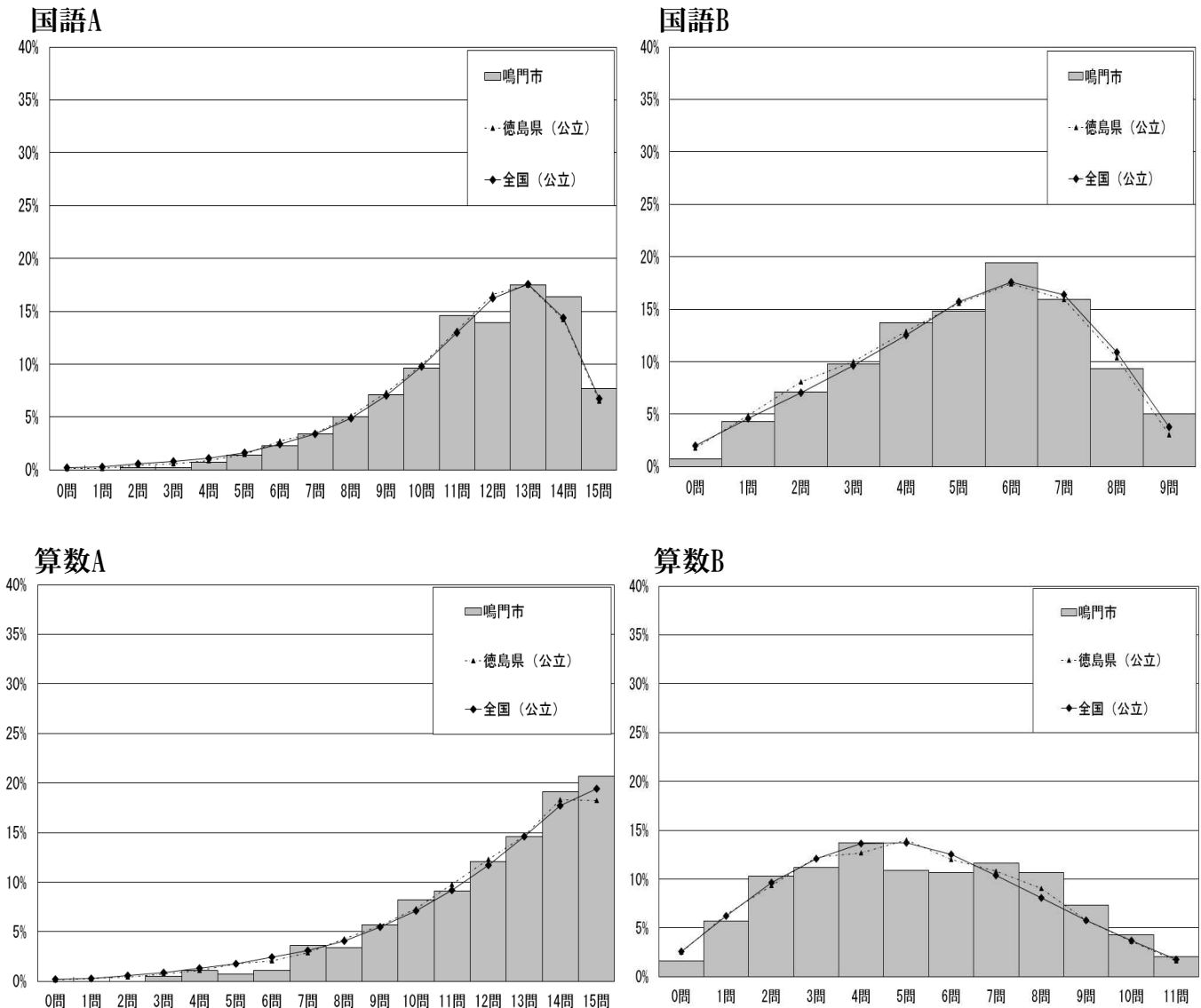
2 現状・課題（平均正答率より）

(1) 小学校 実施日 平成29年4月18日（火）
実施学校数 14校 調査児童数 6年生439人

各テスト結果の状況

	国語A	国語B	算数A	算数B
全国平均正答率	74.8	57.5	78.6	45.9
徳島県平均正答率	75.0	56.0	79.0	46.0
鳴門市平均正答率	77.0	58.0	81.0	48.0
本市－全国	2.2	0.5	2.4	2.1
本市－県	2.0	2.0	2.0	2.0
全国平均を上回った領域等	「書くこと」 「読むこと」 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」	「話すこと・聞くこと」 「書くこと」 「読むこと」	「数と計算」 「図形」 「数量関係」	「数と計算」 「量と測定」 「図形」 「数量関係」
本年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・国語A，国語B，算数A，算数B，すべてにおいて，全国平均や県平均を上回っています。 ・ほとんどの設問において，無解答率が全国平均や県平均を下回っています。 ・話す・聞く能力に課題がみられます。 			
昨年度との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・算数の活用力では，すべての領域で昨年を上回っています。 ・国語の話す・聞く能力については，昨年度より正答率が低下しています。 ・正答率の低い児童の割合が，昨年度より若干高くなっています。 			

小学校正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



各テストにおける結果の概要

【国語A】

15問中正解した児童数が最も多かったのは、全国や徳島県と同じ13問でした。

13問正答率 鳴門市17.5% 全国17.6% 徳島県17.5%

全問正解7.7%、正解3問以下は0.4%でした。

- ◇「手紙の構成を理解し後付けを書くこと」や「俳句の状況を捉えること」はよくできていました。
- ◇昨年度と比べ、「漢字を正しく書くことや読むこと」の正答率に大きな向上が見られました。
- ◆「考えの共通点や相違点を整理しながら進行に沿って話し合うこと」や「古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読むこと」に不得意な傾向が見られました。

【国語B】

9問中正解した児童数が最も多かったのは、全国や徳島県と同じ6問でした。

6問正答率 鳴門市19.4% 全国17.6% 徳島県17.4%

全問正解は5.0%，正解3問以下は21.9%でした。

- ◇「登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉えること」「物語を読み，具体的な叙述を基に理由を明確にして，自分の考えをまとめること」はよくできていました。
- ◆「目的や意図に応じ，引用して書くこと」「目的や意図に応じ，必要な内容を整理して書くこと」「目的や意図に応じ，適切な言葉遣いで話すこと」に不得意な傾向が見られました。

【算数A】

15問中正解した児童数が最も多かったのは、全国と同じ15問でした。

15問正答率 鳴門市20.7% 徳島県18.2% 全国19.4%

全問正解は20.7%，正解3問以下は0.5%でした。

- ◇「正五角形が，五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解すること」「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること」「商を分数で表すこと」「高さが等しい平行四辺形と三角形について，底辺と面積の関係を理解すること」「二つの数の最小公倍数を求めること」はよくできていました。
- ◆「1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し，数量の関係を数直線に表すこと」「具体的な問題場面において，乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解すること」に不得意な傾向が見られました。
- ◆他の領域と比べ，「量と測定」領域に不得意な傾向が見られました。

【算数B】

11問中正解した児童数が最も多かったのは、全国や徳島県は5問ですが、本市は4問(正答率13.7%)でした。

5問正答率 鳴門市10.9% 徳島県14.0% 全国13.7%

全問正解は2.1%，正解3問以下は28.8%でした。

- ◇「仮の平均を用いた考えを解釈し，示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述すること」「料金の差を求めるために，示された資料から必要な数値を選び，その求め方と答えを記述すること」「示された式の中の数の意味を，表と関連付けながら正しく解釈し，それを記述すること」「身近なものに置き換えた基準量と割合を基に，比較量を判断し，その理由を記述すること」「示された考えを解釈し，数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを，図に表現すること」はよくできていました。
- ◆「示された割合を解釈して，基準値と比較量の関係を表している図を判断すること」に不得意な傾向が見られました。

改善のポイント

【国語】

- 国語科を中心に、すべての学習の中で話し合い活動を重視し、他者とかかわりながら自分の考えを明確にし表現する授業を展開していきます。
- 作文や日記等の文章を書く機会に、既習漢字を常に使用する習慣をつけるようにします。
- 文中の語句の役割や意味のつながりに気をつけて、文章を読み取る力をつけていきます。
- 様々な場面で、書く機会を設けます。

【算数】

- 活用する力を向上させるために、問題解決に至る過程を自分の言葉で説明したり、他者の考えを理解し説明したりする活動を取り入れた授業を展開していきます。
- 補充学習や家庭学習で、計算技能の習熟を図ります。
- 「量と測定」領域の学習では、単位の概念について理解を深めます。
- 学習形態の工夫や補充的な学習や発展的な学習を生かして、個に応じた学びを充実していきます。

(2) 中学校 実施日 平成29年4月18日 (火)

実施学校数 5校

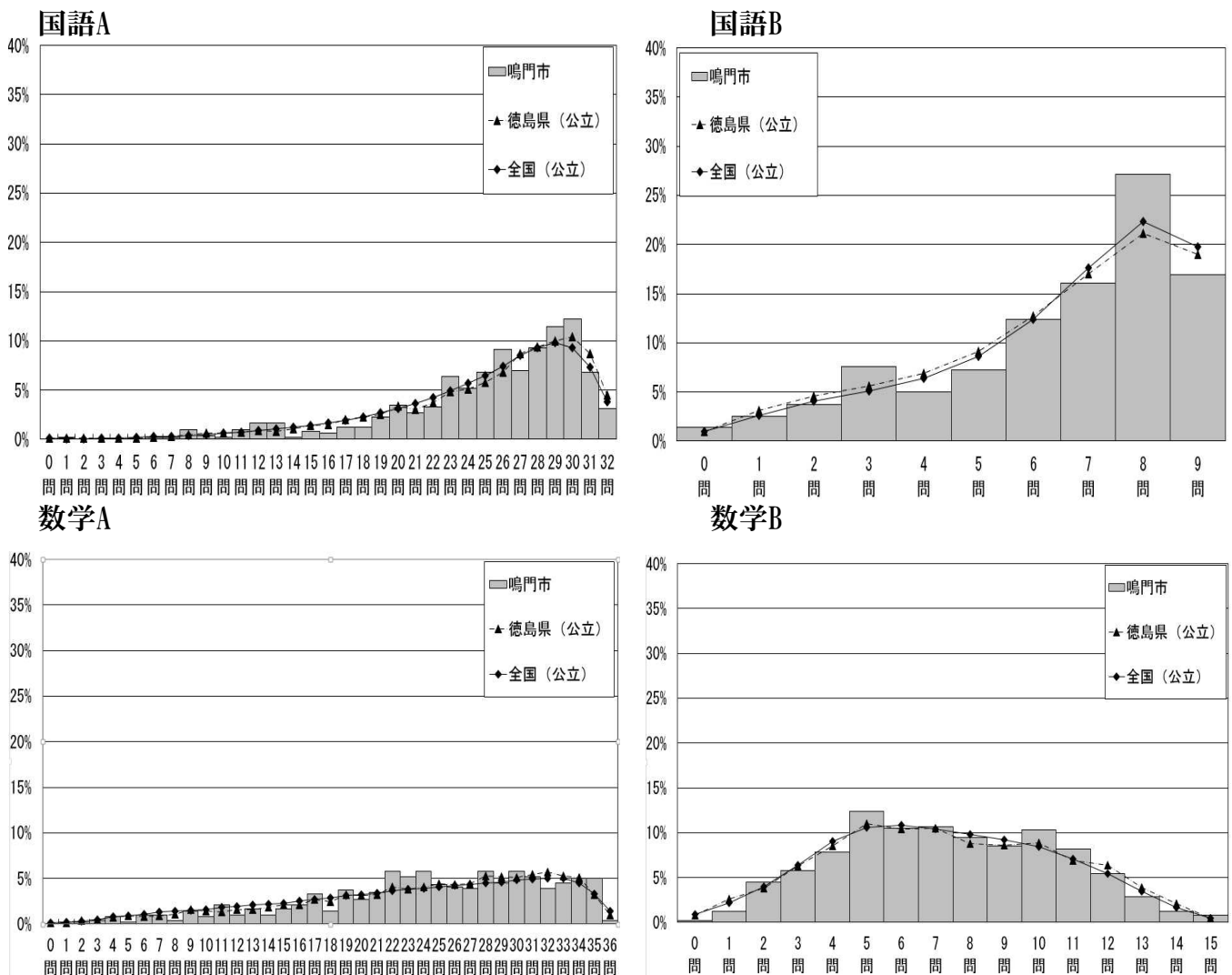
調査生徒数 3年生

国A 483人, 国B・数A 484人, 数B 485人

各テスト結果の状況

	国語A	国語B	数学A	数学B
全国平均正答率	77.4	72.2	64.6	48.1
徳島県平均正答率	78.0	71.0	67.0	49.0
鳴門市平均正答率	79.0	72.0	67.0	49.0
本市ー全国	1.6	-0.2	2.4	0.9
本市ー県	1.0	1.0	0.0	0.0
全国平均を上回った領域	「読むこと」 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」	「読むこと」 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」	「数と式」 「図形」 「関数」 「資料の活用」	「数と式」 「図形」 「関数」
本年度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・国語A, 数学A, 数学Bにおいて, 全国平均, 県平均と同じか, それを上回っています。 ・数学は, すべての領域で全国平均を上回っています。 			
昨年度との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・国語ではすべての, 数学ではほとんどの領域で, 正答率が向上しています。 ・正答率の低い生徒の割合が, 昨年度に比べて下がっています。 			

中学校正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



各テストにおける結果の概要

【国語A】

32問中正解した生徒数が最も多かったのは、徳島県と同じ30問でした。全国では、29問正解した生徒の割合(9.8%)が、最も高かったです。

30問正答率 鳴門市12.2% 徳島県10.4% 全国9.3%

全問正解は3.1%，正解3問以下は0.2%でした。

無解答率は全国平均の約1.3倍でした。

◇「文章の表現の仕方について自分の考えをもつこと」「事実と考えの関係に注意し，構成を工夫して話すこと」は比較的よくできていました。

◆「相手に分かりやすいように語句を選択して話すこと」「書いた文章を読み返し，語句の使い方を工夫して書くこと」「文章の構成を工夫して分かりやすく書くこと」に不得意な傾向が見られました。

◆特に書く能力の基礎・基本が身に付いていない傾向が見られました。

【国語B】

9問中正解した生徒数が最も多かったのは、全国や徳島県と同じ8問でした。

8問正答率 鳴門市27.1% 徳島県21.1% 全国22.3%

全問正解は16.9%，正解3問以下は15.2%でした。

無解答率は全国平均の約1.2倍でした。

- ◇「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解すること」「目的に応じて必要な情報を読み取ること」は比較的よくできていました。
- ◆「必要な情報を集めるための見通しをもつこと」「相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すこと」「登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること」に不得意な傾向が見られました。

【数学A】

36問中正解した生徒数が最も多かったのは、本市は22問，24問，28問，30問で5.8%でしたが、全国は32問，33問で5.0%，徳島県は32問の5.7%でした。

30問正答率 鳴門市5.8% 徳島県5.1% 全国4.8%

全問正解は0.4%，正解3問以下は0.8%でした。

- ◇「実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されることを理解すること」「整式の加法と減法の計算をすること」「簡単な連立二元一次方程式を解くこと」「等式を目的に応じて変形すること」「空間における直線と平面の平行について理解すること」「与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ること」「簡単な一元一次方程式を解くこと」「分数の乗法の計算をすること」「具体的な場面で、一元一次方程式をつくること」「2つの負の数の和は負の数になることを理解すること」「加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算すること」「扇形の弧の長さを求めること」「平行移動した図形をかくこと」「数量の関係を文字式で表すこと」はよくできていました。
- ◆「二元一次方程式の解の意味を理解すること」「見取図に表された立方体の面上の線分の長さの関係を読み取ること」「角の二等分線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解すること」に不得意な傾向が見られました。

【数学B】

15問中正解した生徒数が最も多かったのは、本市は徳島県と同じで5問でしたが、全国は6問（10.8%）でした。

5問正答率 鳴門市12.4% 全国10.6% 徳島県11.0%

全問正解は0.8%，正解3問以下は11.7%でした。

◇「付加された条件の下で，図形の性質を用いること」「問題場面における考察の対象を明確に捉えること」「数学的な表現を事象に即して解釈し，的確に処理すること」「筋道を立てて考え，証明すること」「与えられた表やグラフから，必要な情報を適切に読み取ること」「与えられた説明の筋道を読み取り，事象を数学的に表現すること」はよくできていました。

◆「事象を数学的に解釈し，問題解決の方法を数学的に説明すること」「事象と式の対応を的確に捉え，事柄が成り立つ理由を説明すること」「証明した事柄を用いて，新たな性質を見いだすこと」「資料の傾向を的確に捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること」に不得意な傾向が見られました。

改善のポイント

【国語】

- 教材や指導法を工夫し，「国語学習は楽しい」と感じる授業を推進します。
- 書く能力，読む能力を育成するために，ワークシートやホワイトボードを活用し，書くことと読むことの関連を図る授業を展開していきます。
- 国語科を中心に，あらゆる教科の中で話し合い活動を重視し，事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す力をつけていきます。
- 様々な文章を書く機会を設定します。
- 場面に即した多様な語句・語彙指導や，辞書を活用した語句・語彙指導を繰り返すなど，言語事項の指導を工夫します。

【数学】

- 学習問題の提示の仕方や教材等を工夫し，生徒が意欲を持って取り組む授業を展開していきます。
- 生徒の実態に合わせて，授業のスピードや難易度を調整し，分かる授業を展開していきます。
- 授業中も可能な限り演習の時間を設定するなど，反復練習することで基礎的な技能の定着を図るようにします。
- 「課題に対する自分の考えを持ち，言葉や文章で表現し説明する活動」を積極的に取り入れ，数学的な見方や考え方を伸ばす授業を展開していきます。
- 考えたことをまとめたり表現したりする際に，ノートを使う指導を継続します。

3 児童・生徒，学校への質問紙から見える改善のポイント

児童・生徒質問紙調査結果において昨年度より向上した生活状況例

質 問		昨年 (%)	本年 (%)	差 (%)
小 学 校	毎日，朝食を食べていますか	82.1	85.2	3.1
	毎日，同じぐらいの時刻に寝ていますか	29.1	37.8	8.7
	自分には，よいところがあると思いますか	32.3	44.9	12.6
	将来の夢や目標を持っていますか	65.5	69.9	4.4
	家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか	22.4	29.4	7.0
	学級で協力して何かをやりとげ，うれしかったことがありますか	55.2	63.3	8.1
	先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	47.8	55.4	7.6
	先生は，理解していないところを，分かるまで教えてくれますか	52.9	60.4	7.5
	学校のきまりを守っていますか	44.8	47.8	3.0
中 学 校	毎日，朝食を食べていますか	79.9	81.0	1.1
	毎日，同じぐらいの時刻に寝ていますか	26.6	29.7	3.1
	普段，2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりする	50.5	47.3	-3.2
	普段，2時間以上通話やメール，インターネットをする	30.3	29.2	-1.1
	家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか	16.7	17.1	0.4
	家で，学校の宿題をしていますか	73.4	75.5	2.1
	学校に行くのは楽しいと思いますか	48.6	52.0	3.4
	学校で，友達に会うのは楽しいと思いますか	74.0	79.4	5.4
	学級で協力して何かをやりとげ，うれしかったことがありますか	55.5	59.2	3.7
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	30.1	35.5	5.4	

児童・生徒質問紙調査結果から改善を要すると思われる生活状況例

質 問		全国 (%)	本市 (%)	市-国 (%)
小 学 校	友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	60.1	51.7	-8.4
	友達のを考えを受け止めて，自分の考えを持つことができますか	42.5	37.8	-4.7
	普段，1日当たり2時間以上勉強をする	27.1	22.5	-4.6
	テレビ，ゲームの時間を，ルールとして決めていますか	35.3	32.1	-3.2
	今住んでいる地域の行事に参加していますか	35.0	23.2	-11.8
	地域や社会の問題や出来事に興味がありますか	28.6	25.3	-3.3
	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	35.4	30.8	-4.6
	ニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	54.5	51.5	-3.0

中学校	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	73.3	70.1	-3.2
	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	19.9	12.6	-7.3
	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	17.6	11.3	-6.3
	友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	59.7	46.8	-12.9
	普段、1日当たり2時間以上勉強をする	35.4	29.3	-6.1
	休みの日に、1日当たり3時間以上勉強をする	17.8	9.9	-7.9
	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	38.5	32.4	-6.1
	家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話をしますか	17.0	13.6	-3.4
	家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話をしますか	17.0	13.6	-3.4
	家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話をしますか	17.0	13.6	-3.4
	家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話をしますか	17.0	13.6	-3.4
	家で、学校の授業の予習をしていますか	11.3	7.2	-4.1
	今住んでいる地域の行事に参加していますか	16.9	8.2	-8.7
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	22.5	13.0	-9.5
	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	49.7	35.5	-14.2
	学校の規則を守っていますか	63.0	59.4	-3.6
友達との約束を守っていますか	69.4	64.1	-5.3	
人が困っているときは、進んで助けていますか	35.6	24.5	-11.1	
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	73.3	68.7	-4.6	

児童・生徒質問紙クロス集計からみた平均正答率の状況

小学校例（太字は最高正答率）

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
している	253	57.6	76.5	60.0	82.5	49.6
どちらかといえば、している	151	34.4	77.9	57.3	81.6	48.8
あまりしていない	27	6.2	76.3	55.1	72.3	40.1
全くしていない	8	1.8	55.0	29.2	55.0	26.1

(13) 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	45	10.3	70.1	45.2	73.9	39.0
3時間以上、4時間より少ない	27	6.2	74.3	47.3	76.8	42.1
2時間以上、3時間より少ない	45	10.3	75.4	57.0	80.4	42.4
1時間以上、2時間より少ない	100	22.8	76.9	59.9	82.0	49.8
1時間より少ない	152	34.6	77.7	62.5	82.6	51.7
全くしない	70	15.9	79.3	60.0	83.0	51.0

(45)新聞を読んでいますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
毎日読んでいる	34	7.7	82.7	62.4	88.0	62.3
週に1～3回程度読んでいる	65	14.8	79.6	64.4	86.5	54.4
月に1～3回程度読んでいる	109	24.8	76.9	59.7	80.4	48.3
ほとんど、または、全く読まない	231	52.6	74.7	55.2	78.8	44.5

中学校例（太字は最高正答率）

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
している	265	54.6	78.8	71.5	67.4	48.6
どちらかといえば、している	186	38.4	80.2	74.4	69.1	51.7
あまりしていない	27	5.6	69.1	58.4	56.5	40.7
全くしていない	7	1.4	73.8	53.7	50.9	30.5

(14) 普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	47	9.7	75.0	65.9	56.2	38.9
3時間以上，4時間より少ない	40	8.2	73.0	65.8	60.2	41.7
2時間以上，3時間より少ない	55	11.3	77.6	72.9	64.2	46.5
1時間以上，2時間より少ない	91	18.8	79.4	71.3	68.1	49.4
30分以上，1時間より少ない	83	17.1	78.6	72.8	67.8	50.7
30分より少ない	98	20.2	81.9	74.3	73.6	53.7
携帯電話やスマートフォンを持っていない	70	14.4	80.9	74.1	71.0	54.1

(47)新聞を読んでいますか

選択肢	調査者数	割合 (%)	平均正答率(%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
毎日読んでいる	16	3.3	79.5	72.9	67.7	54.6
週に1～3回程度読んでいる	37	7.6	82.9	79.3	72.0	55.3
月に1～3回程度読んでいる	116	23.9	79.2	73.8	68.3	51.3
ほとんど、または、全く読まない	316	65.2	78.0	69.9	66.2	47.3

クロス集計で選択肢ごとの平均正答率を比較をしていますが、小学校・中学校とも調査者数が多くないため、ごく少数の回答結果に大きく影響されているものが少なくありません。このことを踏まえた上で結果を見ても、小学校、中学校とも望ましい状況の者が、高い正答率となっている傾向にあります。

例に挙げた以外にも、いくつかの改善を要する生活状況がありました。また学校質問紙からもいくつかの改善を要する学習指導状況がありました。

それらを基に、生活と指導方法の2面から、見直すべきポイントを次のようにまとめました。

1 生活の見直しポイント

- ・地域行事やボランティア活動等への参加を推奨し、健全な心を育成します。
- ・学校と保護者の連携に努め、学習時間の確保と学習習慣の確立、主体的な読書習慣の定着を図ります。
- ・各校で作成している「家庭学習の手引き」の改善を図りながら、効果的な家庭学習の仕方を指導します。

2 指導方法の見直しポイント

(1) 指導者の学力への危機意識啓発と指導力向上や授業改善

- ・学習のねらいを明示し、分かる楽しさが味わえる授業を展開します。
- ・「板書」「ノート」「発問」を密接に関連させ、知識を構造化して捉えることができる指導を推進します。
- ・学力向上実行プランの進捗状況を定期的にチェックし、計画を常に意識できるようにします。
- ・単元始めに理解度等の状況を確認し、既習事項を活用する授業を展開します。
- ・計画的、継続的に反復学習を行い、基礎的・基本的内容の定着を図ります。
- ・多様な問題に取り組むことで、教科や領域特有の解き方、考え方を学ぶことができるようにします。
- ・一人ひとりの確実な学力向上をめざし、個別指導、補充指導、T.T（ティームティーチング 複数の教員による指導）を有効に活用します。

(2) 魅力ある学習環境整備

- ・学級経営力を向上させ、温かい人間関係の中で、安心して学習に取り組むことができるようにします。
- ・正しい言語環境や学習規律を確立し、楽しく意欲的に学ぶ雰囲気を作ります。
- ・電子黒板をはじめ、教材や教具を効果的に活用し、魅力ある学習を推進します。
- ・授業時数を確保し、ゆとりある教育課程を実施します。

4 今後の取組方針

学校と市教育委員会では次のことを積極的に推進します。

- 鳴門市の子どもたちの将来を見据え，社会を生き抜くために必要な学力をつけるために，学校，家庭，市教育委員会が一体となった取組を推進します。
- 家庭との連携のもと，学力向上の礎となる基本的生活習慣の確立を図ります。
- 全国学力・学習状況調査の調査結果を各校において分析し，自校の課題を明確にして，学力向上実行プランに反映できるようにします。
- 鳴門市学力向上推進委員会を継続して開催し，各学校・幼稚園が連携して情報収集や調査結果の分析・検証を行うとともに，具体的な対策について，全市一体となった取組を進めていきます。
- 各中学校区において小中連携を推進し，「学びの継続」を図ります。
- 「学校評価・鳴門プラン」を活用し，PDCAサイクルを生かした学力向上を図ります。

家庭や地域では次のような取組の推進をお願いします。

- 早寝・早起き・朝ご飯の習慣の定着を図りましょう。
- 調和の取れた食事を心がけましょう。
- 子どもの生活リズムの向上に努めましょう。
- 虫歯や近視の予防に努めましょう。
- 十分に睡眠をとることができるようにしましょう。
- スマートフォンやゲームの使用時間を制限し，学習や運動時間の確保を図りましょう。
- 学校行事等に積極的に参加するなど，学校との連携を図りましょう。
- 地域行事やボランティア活動への参加を促しましょう。
- 子どもとよく会話し，生活状況の把握に努めましょう。